

## 公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和5年度分）

（宛先）岡崎市長

2024年 4月 5日

団体名 おかざき九条の会

代表者 荒川和美

構成員 11人 （※令和6年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

恒久平和主義を定めた「第九条」を中心に、日本国憲法の理解を深めることを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現するための活動を、以下の項目に従って報告します。  
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

## ■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場 所	公益*1を受けるのは 誰（何）か	受益者数		活 動 内 容	公益を受けるものに どのような効果があったか
			会員以外	会員*2		
5月20日	せきれいホール	市民（講演会参加者）	381	11	前川喜平講演会	「緊急事態条項」の創設は、独裁国家の道につながる危険性を明らかにされた
12月2日	あおいホール	市民（講演会参加者）	229	11	金平茂紀講演会	報道のあり方と私たちが正しい情報を見抜く力の必要性を説かれた

※1公益 市に登録した分野での活動で、広く市民社会一般にもたらされる利益（公益が団体や、その構成員や会員に対してもたらされる活動は、公益活動には当たりません。）

※2会員 構成員であるなしに関わらず、公益の提供者として会の活動に参加する人

☆記載欄が足りない場合は、別紙を添付する形でも構いません。

## ■ 2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← 5 ④ 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

どの講演会も参加者に好評で「とてもよかった」「よかった」が9割を超えた。講演を聞いて「一人一人がおかしいと思うことに声をあげていく」ことが大切という認識が参加者に共有された。

裏面の自己診断チェックリストをご確認ください。